

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、半期毎に清須市商工会が行う中小企業景況調査から、同地区内における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1)調査対象時期

令和6年4月から令和6年9月の上半期を対象とし、調査時点は令和7年1月31日。

(2)調査対象企業

清須市商工会地区内73企業。

内訳は、製造業10企業、建設業18企業、卸小売業14企業、飲食業15企業、サービス業16企業。

(3)各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書の中のDIとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各項目調査についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については下記の通り。

雨	曇りのち雨	曇り	晴れのち曇り	晴れ
				
△100.0～△60.1	△60.0～△20.1	△20.0～20.0	20.1～60.0	60.1～100.0

中小企業景況調査報告書(清須市概略版)

(令和6年4月～令和6年9月期実績、令和6年10月～令和7年3月期見通し)

1 清須市商工会地区内における産業全体景況

産業全体はすべての指標が悪化

今期の産業全体における景況は、売上額DIが-4.1、採算DIが-20.5、資金繰りDIが-9.6となり、対前期比でそれぞれ-5.5ポイント、-12.3ポイント、-6.9ポイント悪化した。

産業全体では、特に採算DIの悪化幅が大きい。全産業共通して、物価高によるコスト上昇分を価格に転嫁できていないことがうかがえる。

次期の産業全体は、売上高DIが悪化、採算DI、資金繰りDIが改善する見通しである。

産業全体の主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-4.1% (対前年比-13.6悪化)	次期予想	-17.8% (対前年比-19.2悪化)
・採算DI	-20.5% (対前年比-21.9悪化)	次期予想	-17.8% (対前年比-9.6悪化)
・資金繰りDI	-9.6% (対前年比-6.9悪化)	次期予想	-8.2% (対前年比-5.5悪化)

産業全体景況天気図

総評



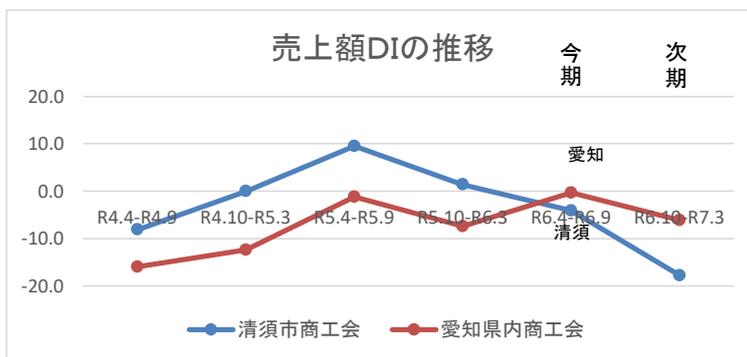
時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
4年4月～4年9月		-8.1%		-31.1%		-17.6%
4年10月～5年3月		0.0%		-13.9%		-5.6%
5年4月～5年9月		9.5%		1.4%		-2.7%
5年10月～6年3月		1.4%		-8.2%		-2.7%
6年4月～6年9月 (今期)		-4.1%		-20.5%		-9.6%
6年10月～7年3月 (見通し)		-17.8%		-17.8%		-8.2%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

2 愛知県内商工会(愛知県)と清須市商工会(清須市)との比較

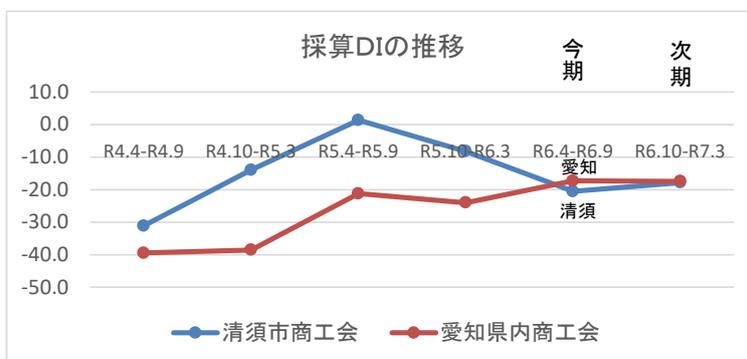
①売上額DI

清須市はR5上半期以降悪化の方向だが、愛知県は今期改善している。
指標値は愛知県が上回った。次期は清須市が更に悪化、愛知県も悪化する見通し。



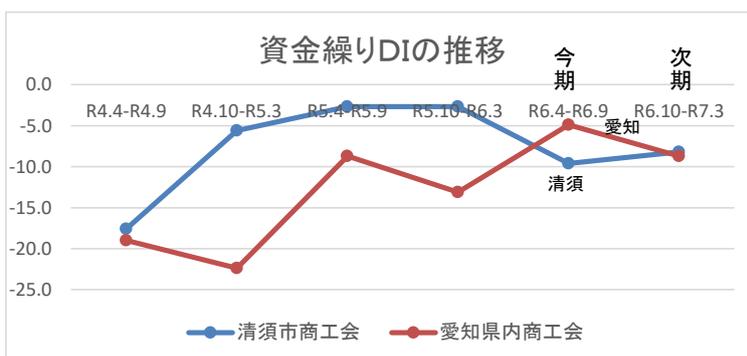
②採算DI

清須市はR5上半期以降悪化の方向だが、愛知県は改善の方向にある。
指標値は愛知県が上回った。次期は清須市が改善、愛知県は概ね横ばいの見通し。



③資金繰りDI

清須市は前期から悪化、愛知県は改善し、指標値は愛知県が上回った。
次期は清須市が改善、愛知県が悪化する見通しで、指標値では清須市が上回る。



【全産業平均】

売上額DIの推移

時期	R4.4-R4.9	R4.10-R5.3	R5.4-R5.9	R5.10-R6.3	今期 (R6.4-R6.9)	次期 (R6.10-R7.3)
清須市商工会	-8.1	0.0	9.5	1.4	-4.1	-17.8
愛知県内商工会	-16.0	-12.4	-1.2	-7.4	-0.3	-6.1

採算DIの推移

時期	R4.4-R4.9	R4.10-R5.3	R5.4-R5.9	R5.10-R6.3	R6.4-R6.9	R6.10-R7.3
清須市商工会	-31.1	-13.9	1.4	-8.2	-20.5	-17.8
愛知県内商工会	-39.5	-38.5	-21.2	-24.0	-17.3	-17.4

資金繰りDIの推移

時期	R4.4-R4.9	R4.10-R5.3	R5.4-R5.9	R5.10-R6.3	R6.4-R6.9	R6.10-R7.3
清須市商工会	-17.6	-5.6	-2.7	-2.7	-9.6	-8.2
愛知県内商工会	-19.0	-22.4	-8.7	-13.1	-4.9	-8.7

※愛知県内商工会の数値は、愛知県商工会連合会が作成する中小企業景況調査報告書(愛知県概略版)から引用

3 業種別景況

(1) 製造業

製造業はすべての指標が悪化

製造業では、売上額DIが-20.0、採算DIが-40.0、資金繰りDIが-40.0となり、対前期比でそれぞれ-20.0ポイント、-28.9ポイント、-28.9ポイントと悪化した。

前期からすべての指標が大幅に悪化している。

次期は、すべての指標が改善する見通しで、特に採算DI、資金繰りDIは大幅に改善する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-20.0% (対前年比-30.0悪化)	次期予想	-10.0% (対前年比-10.0悪化)
・採算DI	-40.0% (対前年比-50.0悪化)	次期予想	10.0% (対前年比 21.1改善)
・資金繰りDI	-40.0% (対前年比 -20.0悪化)	次期予想	0.0% (対前年比 11.1改善)

製造業景況天気図



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
4年4月～4年9月		0.0% ↗		-18.2% ↘		-27.3% ↘
4年10月～5年3月		10.0% ↗		-10.0% ↗		10.0% ↗
5年4月～5年9月		10.0% ⇨		10.0% ↗		-20.0% ↘
5年10月～6年3月		0.0% ↘		-11.1% ↘		-11.1% ↗
6年4月～6年9月 (今期)		-20.0% ↘		-40.0% ↘		-40.0% ↘
6年10月～7年3月 (見通し)		-10.0% ↗		10.0% ↗		0.0% ↗

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(2) 建設業

建設業はすべての指標が悪化

建設業では、売上額DIが-5.6、採算DIが-16.7、資金繰りDIが-5.6となり、それぞれ対前期比で-17.4ポイント、-10.8ポイント、-5.6ポイント悪化した。

特に、採算DIは2期連続で悪化している。

次期は、売上高DI、採算DIが悪化、資金繰りDIは改善する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-5.6% (対前年比-11.9悪化)	次期予想	-33.3% (対前年比-45.1悪化)
・採算DI	-16.7% (対前年比-23.0悪化)	次期予想	-27.8% (対前年比-21.9悪化)
・資金繰りDI	-5.6% (対前年比 0.7改善)	次期予想	0.0% (対前年比 0.0横ばい)

建設業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
4年4月～4年9月		-12.5%		-43.8%		-37.5%
4年10月～5年3月		-6.7%		-33.3%		-26.7%
5年4月～5年9月		6.3%		6.3%		-6.3%
5年10月～6年3月		11.8%		-5.9%		0.0%
6年4月～6年9月 (今期)		-5.6%		-16.7%		-5.6%
6年10月～7年3月 (見通し)		-33.3%		-27.8%		0.0%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(3)小売業

小売業はすべての指標が悪化

小売業では、売上額DIが-28.6、採算DIが-21.4、資金繰りDIが-42.9となり、それぞれ対前期比で-8.6ポイント、-14.7ポイント、-49.6ポイント悪化した。

特に、売上DI、採算DIは2期連続で悪化、資金繰りDIは前期から大幅に悪化した。

次期は、売上額DIは横ばい、採算DIは悪化、資金繰りDIは改善する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-28.6% (対前年比-28.6悪化)	次期予想	-28.6% (対前年比-8.6悪化)
・採算DI	-21.4% (対前年比-15.1悪化)	次期予想	-35.7% (対前年比-29.0悪化)
・資金繰りDI	-42.9% (対前年比-36.6悪化)	次期予想	-35.7% (対前年比-42.4悪化)

小売業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
4年4月～4年9月		-40.0% ↗		-40.0% ↘		-13.3% ↗
4年10月～5年3月		-60.0% ↘		-40.0% ⇨		-26.7% ↘
5年4月～5年9月		0.0% ↗		-6.3% ↗		-6.3% ↗
5年10月～6年3月		-20.0% ↘		-6.7% ↘		6.7% ↗
6年4月～6年9月 (今期)		-28.6% ↘		-21.4% ↘		-42.9% ↘
6年10月～7年3月 (見通し)		-28.6% ⇨		-35.7% ↘		-35.7% ↗

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(4) 飲食業

飲食業は売上額DI、採算DIが悪化、資金繰りDIが改善

飲食業では、売上額DIが0.0、採算DIが-40.0となり、対前期比でそれぞれ-6.3ポイント、-15.0ポイント悪化した。資金繰りDIが6.7となり、対前期比で+19.2ポイント改善した。

特に、売上額DI、採算DIは3期連続で悪化している。

次期は、売上額DI、資金繰りDIが悪化、採算DIが改善する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	0.0% (対前年比-23.5悪化)	次期予想	-20.0% (対前年比-26.3悪化)
・採算DI	-40.0% (対前年比-22.4悪化)	次期予想	-33.3% (対前年比-8.3悪化)
・資金繰りDI	6.7% (対前年比 12.6改善)	次期予想	-13.3% (対前年比-0.8悪化)

飲食業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
4年4月～4年9月		17.6%		-29.4%		-5.9%
4年10月～5年3月		35.3%		-5.9%		5.9%
5年4月～5年9月		23.5%		-17.6%		-5.9%
5年10月～6年3月		6.3%		-25.0%		-12.5%
6年4月～6年9月 (今期)		0.0%		-40.0%		6.7%
6年10月～7年3月 (見通し)		-20.0%		-33.3%		-13.3%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(5) サービス業

サービス業は売上額DI、資金繰りDIが好転、採算DIが横ばい

サービス業では、売上額DIが25.0、資金繰りDIが18.8となり、対前期比でそれぞれ+18.7ポイント、+18.8ポイントと好転、採算DIは6.3となり対前期比で横ばいとなった。

全産業の中で最も良好な指標であるが、売上額DI、資金繰りDIと比べて採算DIが低い。

次期は、売上額DI、資金繰りDIが悪化、採算DIは横ばいの見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	25.0% (対前年比 18.3改善)	次期予想	6.3% (対前年比0.0横ばい)
・採算DI	6.3% (対前年比-13.7悪化)	次期予想	6.3% (対前年比0.0横ばい)
・資金繰りDI	18.8% (対前年比 -1.2悪化)	次期予想	6.3% (対前年比 6.3 改善)

サービス業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
4年4月～4年9月		-6.7%		-20.0%		-67.0%
4年10月～5年3月		20.0%		20.0%		13.3%
5年4月～5年9月		6.7%		20.0%		20.0%
5年10月～6年3月		6.3%		6.3%		0.0%
6年4月～6年9月 (今期)		25.0%		6.3%		18.8%
6年10月～7年3月 (見通し)		6.3%		6.3%		6.3%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

4 経営上の問題点

今期、直面している経営上の問題点を業種別に示したものである。

今回も全業種で、原材料・材料等仕入単価の上昇、その他の経費の増加が上位を占めており、物価高騰の影響が現れている。次いで、顧客のニーズ変化への対応、需要の停滞、人材不足が問題として現れている。

業種	順位	問題点	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	22.2%
	1位	需要の停滞	22.2%
	3位	人件費の増加、材料費・人件費以外の経費の上昇	11.1%
建設業	1位	材料価格の上昇	23.5%
	2位	材料費・人件費以外の経費の上昇	14.7%
	3位	人件費の増加、取引条件の悪化、下請業者の確保難	8.8%
小売業	1位	仕入単価の上昇	30.8%
	2位	消費者ニーズの変化への対応	15.4%
	2位	販売価格の低下・上昇難	15.4%
飲食業	1位	材料等仕入単価の上昇	35.9%
	2位	人件費以外の経費の増加	17.9%
	3位	人件費の増加、需要の停滞、店舗施設の狭隘・老朽化	10.3%
サービス業	1位	利用者ニーズの変化への対応	15.4%
	1位	従業員の確保難	15.4%
	3位	材料等仕入単価の上昇	12.8%

5 取り組むべき経営課題

問題の解決に向けた経営課題を全産業平均及び業種別に示したものである。全産業平均において、従来から販路開拓が常にトップであったが、今期はコスト削減が1位になった。物価高による仕入コスト上昇、経費増が表面化してる。但し、引き続き販路開拓が課題であることには変わりはない。

業種	順位	経営課題	割合
製造業	1位	販路開拓	26.7%
	2位	設備投資	20.0%
	3位	コスト削減、新製品開発、人材募集	13.3%
建設業	1位	コスト削減	33.3%
	2位	販路開拓	25.9%
	3位	人材募集、現場改善	11.1%
小売業	1位	販路開拓	33.3%
	1位	コスト削減	33.3%
	3位	設備投資、現場改善	8.3%
飲食業	1位	コスト削減	46.7%
	2位	販路開拓	20.0%
	3位	人材募集	13.3%
サービス業	1位	販路開拓	31.8%
	1位	人材募集	22.7%
	3位	コスト削減	18.2%
全産業平均	1位	コスト削減	29.1%
	2位	販路開拓	28.2%
	3位	人材募集	11.7%